

有明莊特別會計

令和7年度 有明荘特別会計の概要

観光宿泊施設（安曇野市有明荘）について、指定管理制度による民間事業者のノウハウを活かした運営を行うことで、業務のスリム化、経営の効率化及びサービスの向上を図ることにより、交流人口の拡大及び市民福祉の向上を図りました。

令和7年度は例年どおり4月18日に営業を開始し、11月3日までの194日間営業を行い、入浴者と宿泊者の受け入れを行い誘客に努めました。

令和7年度は、宿泊に関しては、令和元年度のコロナ禍以前と同等の宿泊者数に回復しましたが、中房線崩落（4月14日～8月8日）の影響もあり前年度に比べ減少しました。また、最低賃金の上昇による人件費や燃料費、食材費等物価高騰の影響があったものの、市に納付する納付金は納付されました。

令和8年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	401
------------	-----

予算	款	01	施設事業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	施設事業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	施設事業費		施策	地域独自の観光資源の活用
	事業	7100001	有明荘施設管理費			

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
7,343,000		7,338,733		0		4,267		99.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
7,337,000			一般会計繰入金		3,717,000					
			有明荘施設使用料		3,620,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市有明荘について、指定管理者制度を活用し、民間事業者の視点による業務のスリム化及び効率化を図りサービスの向上に努めました。

令和7年度は4月18日から11月3日までの194日間営業を行い、日帰り入浴利用者と宿泊者の誘客、受け入れに努めました。

利用者数について、期間中には、県道槍ヶ岳矢村線（中房線）の一部崩落（4/14～8/8）による交通規制等があったものの、令和元年 宿泊4,024人、入浴10,562人に対して、令和7年度は宿泊4,868人、入浴5,638人と宿泊については登山利用者が顕著に訪れ、ほぼコロナ禍前の利用状況と同等を維持することができました。

また、最低賃金の上昇による人件費や燃料費、食材費等物価高騰の影響があったものの、市に納付する納付金3,620千円全額が納付されました。

○有明荘の概要

指定管理者	株式会社燕山荘		
指定期間	平成28年4月1日 から 令和9年3月31日 まで		
指定管理料	なし	市への納付金	3,620,000円
利用者数	宿泊者数 4,868人（前年度比 -140人） 入浴者数 5,638人（前年度比 -4,233人）		
主な修繕	貯水槽配管組み換え修繕 1,690,607円 食堂エアコン取替修繕 693,000円 玄関上軒天修繕 642,620円		
主な工事	露天風呂他照明LED化工事 952,600円		

上記の評価と課題等

指定管理者による、民間の経営ノウハウを活用した施設運営を行うことで、業務のスリム化及びサービスの向上が図れ宿泊者の9割以上を占める登山客から高い評価を得ています。

しかし、施設の老朽化による修繕費の増加、設備等が他の民間施設に比べて古いなどの評価も見受けられることから、こまめな点検と改修が必要と考えます。また、行政と指定管理者の二重の管理は、制約等も多く柔軟性に欠けることから、民間譲渡に向け関係機関との調整を進めます。